

4. 団体の部

①経年管対策 (件)

(70点以上)

推 薦 者	名 称	代 表 者 名	無事故 (無違反) 年 数	功 績	備 考	評 点

②経年管対策以外 (件)

(70点以上)

推 薦 者	名 称	代 表 者 名	無事故 (無違反) 年 数	功 績	備 考	評 点

様式第 2

調 査 書

(工場等の部)

項 目	記 載 事 項
名称 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
工場等の長の氏名(ふりがな)	
ガス主任技術者名 (ふりがな)	(種) (勤続年数)
工場等の所在地 (ふりがな)	
推薦順位	
工場等の沿革及び事業内容	
従業員数	
主要設備の概要	
功績	
表彰された経験	
その他参考となる事項	

備考：用紙の大きさは日本工業規格 A 4 とすること。

様式第 3

調 査 書

(ガス工事業者の営業所の部)

項 目	記 載 事 項
名称 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
営業所の長の氏名(ふりがな)	
営業所の所在地 (ふりがな)	
推薦順位	
営業所の沿革及び事業内容	
従業員数	
年間ガス工事量	(千円)
功績	
表彰された経験	
その他参考となるべき事項	

備考：用紙の大きさは日本工業規格A 4 とすること。

様式第 4

調 査 書

(個人の部)

項 目		記 載 事 項
氏名 (ふりがな)		
生年月日・性別		
本籍地 (ふりがな)		(都道府県名)
現住所 (ふりがな)		
推薦順位		
職業		(役職名も記入)
所属事業所又は勤務場所		
経 験	ガス主任技術者免状の有無	(有の場合は種類及び取得年月日)
	賞罰	
	その他の経歴	
功績		
その他参考となるべき事項		

備考：用紙の大きさは日本工業規格A 4とすること。

様式第 5

調 査 書

(団体の部)

項 目	記 載 事 項
団体名 (ふりがな)	
代表者名 (ふりがな)	
団体構成員及びその概要	
団体の所在地 (ふりがな)	
推薦順位	
団体の沿革、目的及び事業内容	
功績	
表彰された経験	
その他参考となるべき事項	

備考：用紙の大きさは日本工業規格 A 4 とすること。

様式第6

平成 年度ガス保安功労者経済産業大臣表彰審査調書

(注1) 各評価事項について、ガス保安功労者経済産業大臣表彰選考基準に定める「A」から「D」の評価区分及びその評点を「監督部評点」欄に記入すること。また、評点については合計点も記入すること。

(注2) 「審査会評点」欄は本省用であるため、各監督部では記入しないこと。

区 分	工場等の部	名 称	(括弧書きで一般、簡易の別を記載)		代表者氏名	
評 価 事 項	記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考	
(1) ガス保安関係法令の遵守状況 イ. ガス保安関係法令等の整備、活用状況	法令集等の整備状況、活用状況について、簡潔に記載する。 (単に法令集が揃えられているということだけでなく、どのように活用されているか。)				A：法令集等が揃えられ、他者より活用状況が良い B：法令集等が揃えられ、他者と活用状況が同等 C：法令集等が揃えられているが、他者より活用状況が劣る D：法令集等が不備	
ロ. 関係官庁に対する許認可、報告、届出等の手続きの状況	諸手続きの実施状況（期間、期日の遵守状況等） 指摘、警告等を受けたことが有る場合、時期及び内容等を記載する。				A：過去10年以内に指摘等無し B：過去8年以内に指摘等無し C：過去5年以内に指摘等無し D：過去5年以内に指摘等有り	
ハ. ガス保安関係法令の技術上の基準に適合したガス工作物が設置、使用されているかどうかの状況	指摘、警告等を受けたことがある場合、時期・内容等を記載する。				A：過去10年以内に指摘等無し B：過去8年以内に指摘等無し C：過去5年以内に指摘等無し D：過去5年以内に指摘等有り	

評価事項	記載欄	監督部評点	審査会評点	備考
<p>(2) 事故の発生状況 規則第112条第1項の規定による報告すべき事故(自己の責任によらないものは除く。)の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p> <p>(3) 事故の予防及び復旧対策 イ. 災害その他非常の場合の組織規程の有無</p> <p>ロ. 復旧、防災訓練の実施状況</p> <p>(4) 保守運営体制 イ. ガス主任技術者の選任状況</p>	<p>① 直近の事故発生から無事故である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。)</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要(発生年月日、内容、被害状況等)を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>① 組織規程の名称</p> <p>② 緊急時等における防災管理組織図(別添にしないこととする。)</p> <p>(市町村等の行う防災訓練等に参加した場合を含めて)最近2年間における復旧、防災訓練等の実施状況(日時、名称、参加者数等)を具体的に記載する。</p> <p>① ガス主任技術者の氏名、専任又は兼任の別、主任技術者経験年数を記載する。</p> <p>② (簡易ガス事業者の場合)兼任にあっては、ガス主任技術者が常駐する事業所から地点群までの平均時間、地点群数及び地点数を記載する。</p>			<p>5年を越える1年につき3点。30点を上限とする。</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p> <p>A：適任者の場合 B：A又はCに決め難い場合 C：適任者と言いが難い者(兼任を多く行っている者、社内の職制上の地位が低い者、その他適任と認め難い者)の場合</p>

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>ロ. 保安規程に「保安統括（管理）者、「保安主任者（ガス主任技術者若しくはその職務代行者）」及び「保安係員」の保安管理組織を定め、かつ、適正に配置されているかどうかの状況</p> <p>ハ. ガス工作物、施設等に対する保安上の改善の有無</p> <p>(5) 保安教育の実施状況</p> <p>イ. ガス保安等の従業員教育の実施状況</p> <p>ロ. 社内におけるガス保安関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況</p> <p>ハ. 社外における保安関係の研究会、講習会等への参加状況</p>	<p>保安管理組織図を記載する。</p> <p>主たる改善事項を簡潔に記載する。</p> <p>① 定期的を実施している従業員教育の内容及び参加者数</p> <p>② (①以外のもので) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数</p> <p>常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況（名称、開催頻度内容等を記載する。）</p> <p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：積極的に数多く行い、他者より良い B：他者と同等 C：あまり行われていない</p> <p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p> <p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p> <p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p>

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>(6) 表彰受賞その他 イ. 表彰関係</p> <p>ロ. その他社会の模範として 特筆すべき事項</p>	<p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p> <p>簡潔に記載する。</p>			<p>A : ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。)</p> <p>B : ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。)</p> <p>C : 上記以外の表彰 (自社の表彰等) 有り D : 無し</p> <p>A : 他者より良い B : 他者と同等 C : 他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

区 分	ガス工事業者の営業所の部	名 称	(括弧書きで一般、簡易の別を記載)	代表者氏名	
評 価 事 項	記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考
<p>(1) 事故の発生状況 施工したガス工事に関し、規則第112条第1項の規定による報告すべき事故(当自己の責任によらないものは除く。)の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p> <p>(2) 危険発生の防止措置 イ. 測定器、安全防護具、工具等の整備状況</p> <p>ロ. 事故発生に備えての適切な対応策及び関係者に対する連絡体制等の組織規程の有無</p> <p>ハ. 復旧、防災訓練の実施状況</p>	<p>① 直近の事故発生から無事故である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。)</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要(発生年月日、内容、被害状況等)を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>常備する機器等のうち、主たるものを記載する。</p> <p>次の事項につき記載する。 ① 連絡体制図 ② 組織規程の名称</p> <p>(市町村等の行う防災訓練等に参加した場合を含めて)最近2年間における復旧、防災訓練等の実施状況(日時、名称、参加者数等)を具体的に記載する。</p>				<p>5年を越える1年につき3点。30点を上限とする。</p> <p>A. 他者より良い B. 他者と同等 C. 他者より劣る D. 非常に悪い</p> <p>A. 他者より良い B. 他者と同等 C. 他者より劣る D. 非常に悪い</p> <p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p>

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>ニ. ガス設備工事技術及びガス保安等の従業員教育の実施状況</p> <p>ホ. 社内におけるガス設備工事技術関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況</p> <p>ヘ. 社外におけるガス設備工事技術関係の研究会、講習会等への参加状況</p> <p>(3) 表彰受賞その他 イ. 表彰関係</p> <p>ロ. その他社会の模範として特筆すべき事項</p>	<p>① 定期的実施している従業員教育の内容及び参加者数</p> <p>② (①以外のもの) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数</p> <p>常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況(名称、開催頻度内容等を記載する。)</p> <p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p> <p>簡潔に記載する。</p>			<p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p> <p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p> <p>A:回数も多く、他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る D:行っていない</p> <p>A:ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B:ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C:上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D:無し</p> <p>A:他者より良い B:他者と同等 C:他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

区 分	個人の部（ガス主任技術者）	氏 名			所 属	
評 価 事 項	記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考	
<p>(1) ガス主任技術者選任年数 ガス主任技術者として選任された年数</p> <p>(2) ガス保安確保に関する貢献</p> <p>イ. ガス主任技術者として従事した工場等において、当該従事期間の規則第112条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（当該ガス主任技術者の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。「別紙」適用）</p> <p>ロ. ガス主任技術者以外で、ガス保安関係の職務に従事した工場等において、規則第112条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（当該ガス主任技術者の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合は対象とする。「別紙」適用）</p>	<p>通算した選任年数及び職務に従事した経歴を簡潔に記載する。</p> <p>① 直近の事故発生から無事故である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。）</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要（発生日、内容、被害状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>① 直近の事故発生から無事故である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。）</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要（発生日、内容、被害状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p>				<p>1年につき3点。45点を上限とする。</p> <p>（人損の場合） A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り</p> <p>（物損の場合） A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り E：過去3年以内に事故有り</p> <p>（ガス主任技術者として従事した期間除く） （人損の場合） A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り</p> <p>（物損の場合） A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り E：過去3年以内に事故有り</p>	

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>ハ. ガス保安に関する改善、研究、考案、発明等の有無</p> <p>(3) 保安教育に関する貢献</p> <p>イ. ガス保安等の従業員教育の講師として実績の有無</p> <p>ロ. 社内におけるガス保安関係の委員会、研究会の委員としての実績の有無</p> <p>ハ. その他ガス保安の技術又は知識の向上に特筆すべき功績の有無</p> <p>(4) 表彰受賞その他</p> <p>イ. 表彰関係</p> <p>ロ. その他会社の模範として特筆すべき事項</p>	<p>時期、内容、意義等を記載する。</p> <p>実績を記載する。</p> <p>実績を記載する。</p> <p>実績を記載する。</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p> <p>簡潔に記載する。</p>			<p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D：無し</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

区 分	個人の部（ガス保安関係永年勤続者）	氏 名			所 属	
評 価 事 項		記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考
<p>(1) ガス保安関係の勤続年数 ガス保安関係の職務に従事した年数</p> <p>(2) ガス保安の確保に関する貢献</p> <p>イ. ガス保安関係の職務に従事した工場等において、当該従事期間の規則第112条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無（自己の責任によらないものは除く。ただし、役員等の責任的立場の場合には対象とする。「別紙」適用）</p> <p>ロ. ガス保安に関する改善、研究、考案、発明等の有無</p> <p>ハ. ガス保安等の従業員教育の講師としての実績の有無</p>		<p>通算した従事年数及び職務に従事した経歴を簡潔に記載する。</p> <p>① 直近の事故発生から無事故である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。）</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要（発生日、内容、被害状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>時期、内容、意義等を記載する。</p> <p>実績を記載する。</p>				<p>1年につき1点。40点を上限とする。</p> <p>（人損の場合） A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り</p> <p>（物損の場合） A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り E：過去3年以内に事故有り</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
ニ. 官公庁又は団体等のガス保安関係の委員会の委員としての実績の有無 ホ. その他ガス保安の技術又は知識の向上に特筆すべき功績の有無 (3) 表彰受賞その他 イ. 表彰関係 ロ. その他社会の模範として特筆すべき事項	実績を記載する。 実績を記載する。 ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。 簡潔に記載する。			A：実績も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D：無し A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る
評 点 合 計		合計点を算出すること		

区分	個人の部(ガス主任技術者又はガス保安関係永年勤続者以外の者(ニ-a))	氏名			所属	
評価事項	記載欄		監督部評点	審査会評点	備考	
イ. 事業者内部での取組状況 a. 当該ガス事業者における勤続年数	通算した勤続年数及び経歴を簡潔に記載する。				1年につき3点。45点を上限とする。	
b. 保安に係る資格取得者数向上のための取組状況	ガス主任技術者等の資格者数等について記載する。				A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る D: 行っていない	
c. 警報器の設置促進等需要家保安への取組状況	以下の点等につき簡潔に記載する。 ・良質なガス燃料への転換状況等 ・ガス漏れ警報器の設置状況 ・広報活動の充実				A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る	
d. 経年管対策への取組状況	以下の点等につき簡潔に記載する。 ・計画的な取組状況 ・事業資金の充当状況 (「団体の部(経年管対策)」の審査項目と同様の内容について取組状況を評価する。)				A: 他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る	
e. ガス保安等の従業員教育の実施状況	① 定期的実施している従業員教育の内容及び参加者数 ② (①以外のもので) 最近2年間に実施した教育内容、参加者数				A: 回数も多く、他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る D: 行っていない	
f. 社内におけるガス保安関係の委員会、研究会等の設置及び活動状況	常設する委員会、研究会における最近2年間の検討状況(名称、開催頻度内容等を記載する。)				A: 回数も多く、他者より良い B: 他者と同等 C: 他者より劣る D: 行っていない	

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>g. ガス保安関係法令の遵守状況</p> <p>h. 規則第112条第1項の規定による報告すべき事故の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無(「別紙」適用。ただし、当該ガス事業者の責任によらないものは除く。)</p> <p>ロ. 事業者外部での取組状況 a. 社外における保安関係の研究会等への参加状況</p>	<p>法令集等の整備状況、活用状況について、簡潔に記載する。 (単に法令集が揃えられているということだけでなく、どのように活用されているか。)</p> <p>① 直近の事故発生から無事故である年数(当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。)</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要(発生年月日、内容、被害状況等)を記載する。</p> <p>③ 当該ガス事業者の責任によらない事故であって、過去10年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び当該ガス事業者の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>最近2年間に参加した研究会、講習会等の名称、テーマ、参加者数を記載する。</p>			<p>A：法令集等が揃えられ、他者より活用状況が良い B：法令集等が揃えられ、他者と活用状況が同等 C：法令集等が揃えられているが、他者より活用状況が劣る D：法令集等が不備</p> <p>(人損の場合) A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り</p> <p>(物損の場合) A：無事故 B：過去10年以上に事故有り C：過去10年以内に事故有り D：過去5年以内に事故有り E：過去3年以内に事故有り</p> <p>A：回数も多く、他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：行っていない</p>

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>b. 他の事業者の模範となるような取組の紹介実績</p> <p>c. 表彰関係</p> <p>d. その他社会の模範として特筆すべき事項</p>	<p>具体的な紹介実績を記載する。</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p> <p>簡潔に記載する。</p>			<p>A：回数も多く、内容も良い B：他者と同等 C：他者より劣る D：実績が無い</p> <p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C：上記以外の表彰(自社の表彰等)有り D：無し</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

区 分	個人の部 (ガス主任技術者又はガス保安関係永年勤続者以外の者(ニ-b))	氏 名		所 属	
評 価 事 項	記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考
保安確保の推進等 (1) 保安の向上を促進する機器・装置等の研究開発、考案、発明若しくは普及活動での顕著な功績又は保安確保の改善若しくは研究で顕著な功績の有無 (2) 国または関係団体などが主催するガス保安に係る委員会に着任の有無 (国若しくは団体等の委員会にて1回以上の委員長を経験し、かつ、委員長として着任している委員会が終了していること。また、自らが所属する団体が主催する委員会は含まない)	時期、内容、意義等を記載する。 着任していた又は着任している委員会の名称、期間等を記載する。				A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る (学識者の場合) A：4委員以上 B：2～3委員 C：1委員 (学識者以外の者の場合) A：10年以上 B：7～9年 C：6年以下
評 点 合 計			合計点を算出すること		

区 分	団体の部（経年管対策）	名 称	（括弧書きで一般、簡易の別を記載）		代表者氏名	
評 価 事 項	記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考	
<p>(1) 事故の発生状況 規則第112条第1項の規定による報告すべき事故（当該団体の責任によらないものは除く。）の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p>	<p>① 直近の事故発生から無事故である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。） ② 無事故でない場合、事故の概要（発生年月日、内容、被害状況等）を記載する。 ③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p>				<p>A：無事故 B：過去5年以内に事故無し C：過去3年以内に事故無し D：過去3年以内に事故有り</p>	
<p>(2) 保安確保の推進等 イ. 経年管対策への取組状況 対策の対象となる経年管についての現状把握、対策遂行の具体的指針となる長期計画</p>	<p>① 対象の経年管を把握しているか。 ② 管の腐食状況・埋設環境・施設の公共性等を踏まえ、優先順位を設定しているか。 ③ 長期計画を策定しているか。 ④ 対策のための要員等、実施体制が整備されているか。</p>				<p>A：4項目すべて完了 B：完了が4項目中3項目 C：完了が4項目中2項目 D：完了が4項目中1項目以下</p>	
<p>ロ. 未対策経年管の削減率</p>	<p>平成15年度末時点における未対策経年管本数に対する平成15年度末時点から最新年度末時点までに削減した未対策経年管本数の割合（%）</p>				<p>削減率 （他者との比較において大きい方が上位） A：1位から3位まで B：4位から6位まで C：7位以下</p>	

評 価 事 項	記 載 欄	監督部評点	審査会評点	備 考
<p>ハ. 未対策経年管の残存率</p> <p>ニ. その他特筆すべき事項</p> <p>(3) 表彰受賞その他</p>	<p>平成15年度末時点において管理したすべての灯外内管本数に対する最新年度末時点における未対策経年管本数の割合 (%)</p> <p>① 学校、病院、公営建物等保安上重要な建物や集合住宅、一戸建て住宅等の需要家への改修願いの頻度</p> <p>② 個別折衝内容 (取組のためのPR等)、改修対策の向上</p> <p>③ 補助金 (経年埋設内管対策費補助事業 (平成15～21年度)、ガス導管劣化検査等支援事業 (平成22年度～) 及びガス導管経年劣化緊急対策事業 (平成25年度補正予算)) を活用し、経年埋設内管の取替え促進に貢献</p> <p>④ その他</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>			<p>残存率 (他者との比較において小さい方が上位) A : 1位から3位まで B : 4位から6位まで C : 7位以下</p> <p>A : 他者より良い B : 他者と同等 C : 他者より劣る</p> <p>A : ガス保安関係の表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) B : ガス保安関係以外で表彰受賞有り (ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。) C : A、B以外</p>
<p>評 点 合 計</p>		<p>合計点を算出すること</p>		

区 分	団体の部（経年管対策以外）	名 称	（括弧書きで一般、簡易の別を記載）		代表者氏名
評 価 事 項	記 載 欄		監督部評点	審査会評点	備 考
<p>(1) 事故の発生状況 規則第112条第1項の規定による報告すべき事故（当該団体の責任によらないものは除く。）の発生及びガス事業法以外の違反等の発生の有無</p> <p>(2) 保安確保の推進等 保安の向上を促進する機器・装置等の研究開発、考案、発明若しくは普及活動での顕著な功績又は保安確保の改善若しくは研究で顕著な功績の有無</p> <p>(3) 表彰受賞その他</p>	<p>① 直近の事故発生から無事故である年数（当該ガス事業者がこれまで法令対象となる事故を起こしたことがない場合は「無事故」と記載する。）</p> <p>② 無事故でない場合、事故の概要（発生日、内容、被害状況等）を記載する。</p> <p>③ 自己の責任によらない事故であって、過去5年間に事故報告をしたものについては、その事故の概要及び自己の責任によらないものであることを示す事実関係を記載する。</p> <p>実績の記載</p> <p>ガス保安関係及びその他の表彰受賞の有無 受賞している場合、表彰の名称・内容・受賞年月日・表彰者等を記載する。</p>				<p>A：無事故・無違反 B：過去5年以内に事故・違反無し C：過去3年以内に事故・違反無し D：過去3年以内に事故・違反有り</p> <p>A：他者より良い B：他者と同等 C：他者より劣る</p> <p>A：ガス保安関係の表彰受賞有り （ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。） B：ガス保安関係以外で表彰受賞有り （ガス協会等の民間団体の表彰も含む。ただし、自社の表彰は含まない。） C：A、B以外</p>
評 点 合 計			合計点を算出すること		

ガス保安功労者経済産業大臣表彰「個人の部」の不適合要件に関する評価区分

1. ガス事業者の「個人の部」で推薦される者のガス事故に関する総合評価の基準とする。
2. 本人のみならず、事故時における事業者の代表権者・担当役員・その他役員に対し適用する。
3. 「△」は、事故の社会に与える影響等を考慮し、適宜判断する。
4. 「不適合」と評価される者は、他の審査項目による評点結果に関わらず被表彰者として不適合とする。

			人損		物損	
評価区分	評点	選考日と事故発生日の関係	※1 死亡・重傷事故 (死傷者数不問)	※2 軽傷 (負傷者数不問)	※1 爆発・火災	※2 供給支障 交通困難
—	—	過去1年以内に事故有り	不適合	不適合	不適合	不適合
E	1	過去3年以内に事故有り				△
D	3	過去5年以内に事故有り				
C	5	過去10年以内に事故有り				
B	7	過去10年以上に事故有り	△			
A	10	無事故	—	—	—	—

※1：機器自体の欠陥や使用者側の問題等、事業者の責任によらないことが判明しているものは除く。

※2：他工事事故や需要家側の問題で生じた供給支障・交通困難を除く。